

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

## 東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2021.12 >

BULLETIN

2021年7月～2022年6月



国際会長 キム・サンチュエ「Y's Men with the World」 「世界とともにワイズメン」(韓国)  
アジア太平洋地域会長 大野 勉「100年を越えて変革しよう」(神戸ポート)  
東日本区理事 大久保知宏「私たちは次の世代のために何ができるか？」(宇都宮)  
関東東部部長 大澤和子「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ！」(所沢)  
クラブ会長 樋口順英「力まず、愉しく、安全・安心」(東京グリーン)

会 長 樋口 順英  
副 会 長 青木 方枝  
書 記 布上征一郎  
会 計 青木 方枝  
監 事 柿沼 敬喜  
担当主事 木村 卓司

### 12月 クリスマス(降誕節)

天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。  
今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主  
メシアである。(ルカによる福音書2章 10 章11節)  
<私たちの持つ原罪を赦すべく、神が私たち人間社会にメシアを送って来て  
くださった！嬉しいことです。皆で祝いましょう>

## 2021年12月 例会

### 浅見隆夫様への追悼の祈り

西澤 紘一(直前会長)

旧約聖書コヘレトの言葉の冒頭に、「何という空しさ、何  
という空しさ、すべては空しい」と記されているが、特に、コ  
ロナ禍で親しい友を天に送ることほど、この世の不条理、  
命のはかなさを思い知らされたことはない。

浅見隆夫様は、1973年東京グリーンクラブのチャーター  
メンバーとしてクラブを立ち上げるとともに、広くYMCAとワ  
イズメンズクラブの発展のために懸命に働いて来られた。

当クラブが50年近い歴史を刻むことが出来たことは、  
浅見様の働き無くしては、なしえなかったことだろうと思う。

浅見様は多趣味の方で、絵画や民謡、俳句に至るまで  
多彩な才能を持つ粋な江戸っ子であった。いつも柔和で  
冷静、ことに当たっては公正、公平な姿勢を崩さない凛と  
した姿が忘れられない。

コヘレトの言葉は次のように続く。「何事にも時があり、天  
の下の出来事には、すべて定められた時がある」

私達にとって、この世のいかなる不条理もすべては神の  
ご計画の下にあり、定められた時があると言う。浅見様と  
の別離も、神の定められた時として受け止め、同時に、私  
達も神の定められた時を生かされている恵みに感謝しつ  
つ、少し先に逝った友人のために祈りたい。

### ~~ クリスマス食卓会 ~~

日時:2021年12月15日(水) 16:00~18:00  
場所:東京 YMCA 東陽町センター YMCA ホール  
江東区東陽 2-2-20 TEL 03-3615-5565  
(会費:1000.-)受付 柿沼君  
司会 布上君  
開会点鐘 樋口 会長  
<追悼の言葉> 聖句・お祈り 青木 君  
クリスマス讃美歌 全 員  
<黙禱> 献杯 樋口 会長  
会 食: 大新特製弁当・オードブル・ドリンク etc.  
をご堪能下さい。  
懇 談: 浅見さんを偲ぶ話題など~~

クラブ、部、区 全般報告 樋口 会長  
YMCA 情報 木村 君  
Happy Birthday(西澤与子メネット 1名)  
ニコニコ献金 発表 青木君  
閉会点鐘 樋口 会長

【例会出席率】 在籍:15名 メーキャップ 0名 出席率 10/15 67%

出席:11月 例会(東陽町) (メン7名、メネット1名、ゲスト1名、ビジター1名) 計10名

【ニコニコ】 11月 7500円

## 【浅見隆夫さんを偲んで 追悼文】



グリーンクラブ・メンバーがお世話になった御礼と共に、長いお付き合いの思い出なりを短文で書きました。

=====  
＜西澤 紘一：直前会長＞

在天の父なる神様、御名を賛美いたします。東京グリーンクラブのクリスマス例会を多くのメンバーの皆さま

と共に持てます幸いを感謝いたします。本来なら、この場に浅見隆夫、クミ子ご夫妻が出席して下さるはずでした。長い間の闘病生活の中で、常にYMCAやワイズのことに気を配って下さったことを思うにつけ、惜別の悲しさと同時に深い感謝の念に私たちの心が揺り動かされます。地上の人生を精一杯走り抜かれた今こそ、天国でゆっくり休んで下さい。いずれ私たちもそばに参りますから。

浅見隆夫様との長い友情を忘れることなく、神が与えたもうた「今」と言う時を大事にして、YMCAとワイズのために奉仕を続け、隣人を愛し続けられますようお導きください。そして浅見様の魂を安んじ、クミ子様とご遺族の方々の上に天来の慰めがありますように祈ります。

今から始まります2021年度の当クラブのクリスマス例会を最初から最後まで祝して下さいますよう祈ります。この祈りを主イエスキリストの御名を通じて御前に捧げます。

\*\*\*\*\*

＜古平 光市＞ 浅見隆夫さん召天の祈り

天の父なる神さま 尊い御名を讃えます。

この度、私たちグリーンクラブのチャーターメンバーであります浅見隆夫さんを神さまの許へ送りました。

浅見さんは、メンバーはもとよりYMCA、地域社会に骨身惜しまずご奉仕され皆から感謝される人生を精いっぱい歩まれた方であります。父なる神さま、浅見隆夫さんの霊を「神さまの懐」で休ませて下さい。残されたご遺族の皆様的心と身体の健康をお支えくださいますように。

主のみ名によって祈ります。アーメン。

\*\*\*\*\*

＜樋口 順英：会長＞

浅見さんは、すべてを受け入れる心の広さをお持ちでした。入会間もない生意気な私に色々アドバイスをくださいました。クラブ会長をされたときはつねに「親睦」をモットーとされ、メンバーの融和を第一義にしておられました。そしてご自身はいつも心底から「愉快地に楽しく」ワイズライフを送られていました。なんとという爽やかな方だったのでしょうか。私のこれからの人生もこのようにありたいと思います。

\*\*\*\*\*

＜青木 方枝：副会長＞

チャーターナイトの時から家族ぐるみでお付き合いをさせて頂きました。2006年第9代東日本区理事になられたとき、頼まれてメネツ委員長をお受けし、ご夫妻と共に各クラブを訪問しました。また、国際大会でもご一緒させていただき、楽しい思い出が走馬灯のように思い出されます。クラブの大黒柱を失い、寂しい限りです。微力な私ですが、みんなで頑張ります。どうぞ天国から見守ってください。今まで本当にありがとうございました。

\*\*\*\*\*

＜目黒 卓：神田川船の会実行委員長＞

衷心より哀悼の意を表します。大病後のご回復ぶりと常に明るく振舞っていらしたことに感じ入っておりました。無遠慮な私を穏やかに諫めて下さったこともあった。広いお心に感謝申し上げます。

\*\*\*\*\*

＜柿沼 敬喜：監事＞

病状についてご本人から報告は受けていたものの、突然のご逝去の報に接し、チャーターメンバーとして、また元東日本区理事としてワイズを誰よりも理解していた柱を失ったことは、クラブにとってまことに痛恨のきわみです。

この上は、残されたメンバー一同が新旧の別なく心を合わせて浅見隆夫メンのお志を引き継いでクラブの運営・活動に努力の限りを尽くす所存です。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

\*\*\*\*\*

＜西本 東司：プログラム委員＞

浅見さんのご逝去、本当に、本当に残念でなりません！思い返せば40年前Y'sに入会して浅見さんを知りました。とても豪快で楽しく、笑顔がすごく人懐っこく印象に残っております。当時のY'sはとてもざっくばらんでメンバー自身も楽しめる会であったように思います。

僕はメンバーに遊び心があって楽しめてはじめてY'sの存在意義があるように思います。Y'sに行っても様々な行事で皆さんに会える！素晴らしいことです。

浅見さん亡き後、誰がリーダーになってグリーンを引っ張っていくのか？我々メンバーの責任は大変重く感じます。僕は申し訳ありませんが今まで何一つ貢献していません、反省するばかりです！今後、どのように考えて行動するか、メンバーの皆さんにご指導頂きたいと思っております。

浅見さんのご冥福を心からお祈り申し上げます。

\*\*\*\*\*

＜高谷 禎宣：クラブプログラム委員長＞

上野界限では義理人情に厚く、弱音を吐かない、気風の良い、旦那衆の一人でした。

私は天下一品の寅さんの口上に誘われて、付いて行った所がグリーン ワイズでした。

浅見先輩の信条の、争いごとは避ける、依頼されるのも花ゆえ、世話役は断らないと、

そのままの人生を駆け抜けられました。アーメン。

\*\*\*\*\*

＜塩入 淑子：特別メネツ＞

浅見さんとは長いお付き合いで思い出は山のようにあります。特にゴルフの交流は良い思い出になっています。

毎月のように私の自宅、門仲から運転して行くと蔵前通り蛇善の前でゴルフバッグを持って立って待たれている浅見さんと同行しました。爽やかな交遊を有難うございました。

\*\*\*\*\*

＜佐野 守：CS事業委員長＞

私が西クラブに在籍していた時にゴルフなどで良くお付き合いをし意気投合、グリーンへ移籍するまでになりました。ワイズの人脈も沢山紹介していただきました。区大会、国際大会などもよくご一緒し、楽しい思い出ばかりです。どうか、天国からグリーンクラブを見守ってください。

\*\*\*\*\*

## 東京西クラブで「神田川船の会」をアピール



2021年11月18日(木)東京西クラブの例会に招かれました。「神田川船の会」の始まりから、現在までの変遷、現状についての卓話を西クラブ吉田昭弘メンから依頼されたもの。樋口会長がガイドとしての経験を基に、船の会の成り立ちから、永年に亘る河川の浄化を願っての活動について神田川のマップを掲示して、詳しく話しをされた。

10月23日に「神田川秋の特別乗船会」として、関東東部の大澤部長、金丸主査、長尾直前会計の方々がその友人を誘ってご参加、グリーンもメンバー及び友人を誘い、50名定員の「粋人丸」に27名に絞ってのコロナ対策を施した乗船会を催したばかり。その風景をビデオで紹介した。西クラブの皆さんに感想を伺ったところ、次回船の会にぜひ参加したいという声が数人からありました。思わぬPRになったわけです。(布上 記)

## 関東東部 第2回評議会 報告

2021年11月20日(土)コロナ禍の中でクラブの活動が十分に出来ないことから、関東東部評議会報告を頂くことは出来ないのではと考えて、レクリエーション会と銘打ち、数クラブのイベント開催や活動報告を披露することになった。ZOOM参加者は30名。

大澤部長の発案で各クラブからクイズを出してZoom画面で○・Xを挙手、なかなか正解は難しいようだ。活動報告でベイサイドクラブのカンボジアへの「園服寄付活動」は充実した運動であり、大いに感銘を受けた。埼玉クラブからはお得意の「みんなで唄おう」衣笠メンと浅羽メンがリード役で楽しめた。

我がグリーンクラブは10月23日に行った「神田川秋の特別乗船会」報告を行った。2時間のクルーズ運航を5分間のビデオに纏めて…う～ん、ま、何とか制作しご披露した。この制作過程はMSのフォトソフトを使って初めての経験だったが一応、うまく出来たのでホッとしたところ。今後のクリスマス会や新年会は何とか、リアルに皆様とお会いしたいものです。(布上 記)



<早瀬 仁人 : 神田川船の会 実行委員>

浅見さんとの思い出の始まりは、2009年5月の「神田川船の会」で、浅見ガイドのサブとして、ガイドデビューさせて頂いたことでした。笑顔を絶やさず、優しく、ユーモアたっぷりの名調子が、今でも耳に残っています。

ご指導いただき、本当にありがとうございました。

\*\*\*\*\*

<木村 卓司 : クラブ担当主事>

浅見さんとの出会いは2011年グランチャ東雲開設時に「江戸の文化と川下り」を始める時に色々ご指導をいただきお世話になりました。今年の芸術祭では毎日、東陽町に来て受付をしていただいていたことを思い返します。

もうお会いできないと思うと残念で仕方ありません。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

\*\*\*\*\*

<布上 信子 : 部メネット連絡員>

東日本区理事になられたとき、大会にメネットとして参加のお誘いをいただきました。常に姿勢を正され、何事にも前向き、積極的で数々の行事では明るく、民謡調の美声で歌なども披露、又、達筆な事等々、いつも感銘を受けておりました。諸々のご指導、ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

<布上征一郎 : 書記>

グリーンクラブとしては本当に「巨星墜つ」の心境です。クラブを立ち上げ、これまで50年近く我々を牽引し続けていただきました。ご苦勞の連続でしたでしょう。

ありがとうございました。どうぞゆっくりお休み下さい。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

\*\*\*\*\*

## 2021年11月 第一例会 報告

2021年11月17日(水)第一例会は久しぶりに東京 YMCA 東陽町にて行った。本日のゲスト・スピーカーとしてお招きしたのは樋口会長の大学時代の同級生、異色舞台俳優の「氷室幸夫氏」。(経歴は前月号で掲載しました)



氷室氏の今日の卓話のテーマは「声出し健康法」と、歌舞伎の定番である「外郎売(ういろうり)」の紹介…

そもそも「外郎売」とは…ういろ(外郎)とは、お菓子の「ういろ」、菓の「ういろ」がある。「外郎売り」とは菓を売る行商人。その行商人が菓の効能や由来の長々としたセリフをすらすらと早口でよどみなく言い立てる有名な「口上」。享保3年(1718)に二代目市川團十郎が江戸森田座で「若緑勢曾我」の中で「外郎売り」の口上を演じたのが最初。外郎売の一説が演目として独立し、七代目市川團十郎によって制定された、市川家のお家芸「歌舞伎十八番」の演目になった。この口上の一部を実演していただいた。さらに、高齢者の健康法として、口角筋、表情筋を鍛えるために「あ・い・う・べ体操」の紹介も実演。例会は事務連絡も順調に行い、楽しく終了した。(布上 記)

## クリスマス・イヴの「私の名はミミ」



ジャコモ・プッチーニ作曲(1858~1924)

歌劇「ラ・ボエーム」作品 325(1896)

ソプラノ: ミレッラ・フレーニ(1935-2020)

テノール: ルチアーノ・パバロッチェ(1935-2007)

指揮: ヘルベルト・フォン・カラヤン(1908~1989)

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団(1972年録音)

年末といえば「第九」、だけではありません。クリスマスイヴに聴くオペラ「ラ・ボエーム」もいいものです。

コロナ禍の中でご活躍される医療従事者、関係者の方々に感謝し、われわれがいま生きているありがたさに心から感謝しクリスマスをお祝いしたいと思います。

時は1830年代のパリ、モンマルトルあたりか。ボヘミアンと言われた、伝統的な暮らしや習慣にこだわらない自由奔放な生活をしている芸術家気質の若者たちのクリスマスイヴの光景から舞台がはじまります。決して裕福ではない暮らしのなかで懸命に生きる人々の喜怒哀楽を描いた4幕のオペラです。

聴きどころは第一幕の終わりごろ、明かりもない屋根裏部屋での、主人公ロドルフォ(男性詩人)とミミ(女性フリーター)の出会いです。

ロドルフォがミミの手を握り唄う「冷たき手を(Che gelida manina)」、その返しとしてミミのアリア「私の名はミミ(Sì, mi chiamano Mimì)」と続きます。そして二人はイヴでにぎわう街へと繰り出します・・・

感動ライブは、1976年、独身のころ一人で観にいったクリスマスイヴのNY メトロポリタン歌劇場でした。玄関のシャガールの2枚の絵画、場内の天井には大きなシャンデリア、そして世界中から集まる着飾った聴衆、NYは世界の音楽の一大中心地であることを実感しました。

暗闇の舞台上、ミミ役のスーパースター、レナータ・スコットが唄い始めると鳥肌がたち、涙が止まりませんでした。シャルル・アズナブール自作のシャンソン「ラ・ボエーム」は、年を取ったロドルフォが若かりし昔をふりかえりミミを想う渋い歌です。オペラのあらすじを知りこの歌を聴くとさらに味わい深くなることでしょう。(樋口 順英 記)

1. 11月13日、会員部主催の「ソシアス2021」(会員協議会)が東陽町センター及びオンラインで開催され、会員、職員合わせて50名が参加しました。「YMCAの会員活動の活性化に向けて」をテーマに、上田晶平氏(会員部運営委員長)と中里敦氏(会員部統括)の発題を受けて、7グループに分かれて意見交換を行いました。

2. 全国23のYMCAは、「Amazon みんなでサンタクロースプログラム」(Amazonの企画による「ほしいものリスト」を活用したクリスマスチャリティーキャンペーン)に参画しています。

東京YMCAは、子ども食堂「下町こどもダイニング」や、日本語支援「にじいろサポート広場」に通う子どもたちへのクリスマスプレゼント(お菓子や文具)のご支援を、キャンペーンサイト上でアピールしています。

「Amazon みんなでサンタクロースプログラム」

→



3. 今後の主な行事日程

- ・東陽町クリスマスオープンハウス

12月12日(日)11:00-15:00

- ・「第16回子育て講演会」

1月29日(オンライン配信)

講師: 汐見稔幸氏(東京大学名誉教授、白梅学園大学名誉学長、日本保育学会理事)

テーマ: 「ポストコロナ・これからの時代に向けて  
子育てで大切にしたいこと」

- ・「YMCAピンクシャツデー2022」

(いじめ反対キャンペーン) 2月23日

(担当主事 木村 記)